

官民による若手研究者発掘支援事業（若サポ）

NEDO担当部：フロンティア部
経済産業省担当課室：
イノベーション・環境局 大学連携推進室

概要

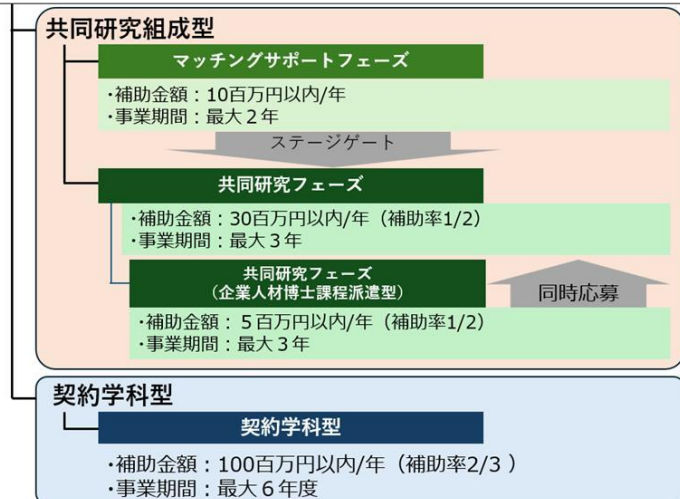
(1) 事業目的

- ・ 実用化に向けた産学連携体制での研究開発を支援することで、目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う若手研究者を発掘、育成
- ・ 次世代のイノベーションを担う人材を育成するとともに、我が国における新産業の創出に貢献

(2) 事業内容

- ・ 45歳未満の若手研究者が企業と共同研究等を実施することを支援
- ・ 大学等が企業とともに契約学科（学位プログラム）を設けつつ、産学連携による研究開発を実施することを支援（若手研究者が従事）

官民による若手研究者発掘支援事業（通称：若サポ）



(3) 事業形態

事業期間：2020年度～

予算金額：2026年度 21.8億円 【一般、需給】

支援形態：委託、定額補助、1/2又は2/3補助

NEDO根拠法：第15条第3号及び第9号

事業紹介



政策・他事業との関連

○関連する政策・施策・戦略等

- ・ 第6期「科学技術・イノベーション基本計画」（令和3年3月閣議決定）
- ・ 「統合イノベーション戦略2024」（令和6年6月閣議決定）

達成目標

(1) アウトプット目標

i) 共同研究組成型

- ・ マッチングサポートフェーズにおいては、採択テーマのうち30%以上を企業との共同研究等の実施に繋げる。
- ・ 共同研究フェーズにおいては、終了した研究開発テーマの終了時評価における「成果の実用化に向けた取組及び見通し」の評価項目の4段階評点が最上位又は上位の区分となる比率を15%以上とする。

i i) 契約学科型

- ・ 補助事業期間終了時点において、研究開発テーマに参画した若手研究者1人当たりの学位論文（またはこれに代わる研究成果物）件数を平均1件以上とする。

(2) アウトカム目標

i) 共同研究組成型

- ・ 共同研究フェーズ終了後から5年後の時点で、実用化に至った研究テーマを7.5%以上とする。

i i) 契約学科型

- ・ テーマ終了後5年後の時点で、実用化に至った研究テーマが採択件数の7.5%以上とする。

(アウトカム目標達成に向けての取組)

- ・ 若手研究者と企業との共同研究等の実施に繋げるため、研究シーズの発信や知財に係る研修等のマッチングサポートを実施

実施体制

スキーム／フェーズ名	公募	採択テーマ一覧
マッチングサポートフェーズ (定額補助)	第1回公募	100924879.pdf
	第2回公募	100932590.pdf
	第3回公募	100941548.pdf
	第4回公募	100950452.pdf
	第5回公募	100963907.pdf
	第6回公募	100981275.pdf
	第8回公募	800031299.pdf
共同研究フェーズ (1/2補助)	第1回公募	100924879.pdf
	第2回公募	100932590.pdf
	第3回公募	100941548.pdf
	第4回公募	100950452.pdf
	第5回公募	100963907.pdf
	第6回公募	100981275.pdf
	第7回公募	800020198.pdf
	第8回公募	800031299.pdf
共同研究フェーズ（スタートアップ課題解決支援型）（定額補助）	第5回公募	100963914.pdf
共同研究フェーズ（企業人材博士課程派遣型）（1/2補助）	第7回公募	800020198.pdf

スケジュール

	2020	～	2025	2026	2027	2028	2029	2030	・・・
Ⅰ) 共同研究組成型									
a) マッチングサポートフェーズ（委託、定額補助）									
b) 共同研究フェーズ（1/2補助）									
c) 共同研究フェーズ（スタートアップ課題解決支援型）（定額補助）									
d) 共同研究フェーズ（企業人材博士課程派遣型）（1/2補助）									
Ⅰ i) 契約学科型（2/3補助）									
実績額（億円）	～	～	－	－	－	－	－	－	－
予算額（億円）	～	～	19.0	(21.8)	－	－	－	－	－

制度終了時評価

●マッチングサポートフェーズ：期間中に企業との共同研究等の形成に至った場合、共同研究フェーズでのテーマ実施の可否をステージゲート審査（1回/年）で判断

●共同研究フェーズ及び共同研究フェーズ（企業人材博士課程派遣型）：期間が2年を超える研究開発テーマに対し、3年目以降のテーマ継続の可否を外部有識者による中間評価で判断。終了した研究開発テーマに対して終了時評価を実施

●契約学科型：期間内に外部有識者による中間評価等を実施し、テーマ継続の可否を判断。終了した研究開発テーマに対して終了時評価を実施